

令和5年度 果樹研究室 試験計画概要

中課題	小課題	細目課題	研究内容	新継年次別
なしの新品種育成 (昭62～)	早生品種の育成	—	幸水より早く収穫できる品種を育成する。	継 続 昭62～
	中晩生品種の育成	—	豊水以降でじっくりまでに収穫できる品種を育成する。	継 続 平25～
	自家結実性や耐病性を有する品種の育成	—	自家結実性や耐病性を有する品種を育成する。	継 続 平21～
	栽培目的に応じた台木用品種の選抜・育成	—	開花期遅延や、矮性・強勢台木など栽培目的に応じた台木用品種を選抜・育成する。	継 続 令4～
気候変動に対応できるなしの生育予測システムの開発(令4～7)	予測精度低下の原因究明	—	「幸水」「豊水」「じっくり」について、生育予測の誤差と気象データや果実特性等を照らし合わせ、原因を明らかにする。	継 続 令4～6
	予測プログラムの構築	—	メッシュ気象データを利用した新たな予測プログラムを作成する。	継 続 令4～7
	予測プログラムの検証	—	作成した予測プログラムを用いて各種予測を行い、予測精度を確認する。	継 続 令4～7
気候変動に対応したなしの安定生産技術の開発(令3～6)	じっくりの果実生理障害の発生要因解明および果実腐敗対策技術の確立	—	気象条件と果実生理障害との発生要因を明らかにし、発生予測技術を確立する。また、生育期及び貯蔵中の果実腐敗果発生軽減技術及び貯蔵技術を確立する。	継 続 令3～6
	低温条件下での受粉対策技術の確立	—	低温条件下で発芽率の良い花粉および受粉方法を選定する。併せて受粉樹の効率的採取に適した仕立て方を検討する。	継 続 令3～6
	幸水における整枝せん定作業の簡素化技術の開発	—	剪定方法(枝の種類での剪定方法等)や枝の誘引方法(枝折り誘引法、夏季管理等)の単純化による剪定作業の簡素化技術を確立する。	継 続 令3～5
水田を活用した新規栽培者のための新たな果樹栽培方法の開発(令4～8)	自作可能で安価な設備、機械で栽培できるぶどう栽培方法の確立	—	主枝の高さ、新梢誘引方法、列間距離等の違いが作業性、樹体生育、果実品質に及ぼす影響を調査し、垣根仕立て栽培における基本的栽培管理方法を確立する。また、栽植密度、主枝育成方法等の違いが初期収量に及ぼす影響を調査し、早期成園化技術を確立する。	新 規 令5～8
	新規就農者、新規参入者でもぶどう栽培が可能となる栽培技術の確立	シャインマスカットの安定生産技術の確立	シャインマスカットの果実に発生する生理障害である未熟粒混入症の発生要因を解明し、新規栽培者でも取り組みやすい対策技術を確立する。	継 続 令4～7
		BKシードレスの安定生産技術の確立	BKシードレスにおける無摘粒栽培方法、適正着果量、収穫時期等を検討し、安定生産技術を確立する。	継 続 令4～7
園芸作物の優良品種選定 (昭38～)	果樹優良品種の選定	品種、系統適応性検定試験	なし、ぶどう、りんご、くり等の新品種および農研機構 果樹茶業研究部門で育成した系統について本県における適応性を明らかにする。	継 続 昭42～
生育調整剤・除草剤の適応性試験 (昭38～)	果樹の生育調節剤の選抜利用試験	果樹除草剤等の適応性判定	日本植物調節剤研究協会(日植調)の設計による。	継 続 昭53～